

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議  
庭園部会（第27回）

議事録

- 日時 令和3年8月23日（月）14:00～15:00
- 場所 オンライン会議 傍聴者用会場：西之丸会議室
- 出席者 構成員
- |       |             |     |
|-------|-------------|-----|
| 丸山 宏  | 名城大学名誉教授    | 座長  |
| 仲 隆裕  | 京都芸術大学教授    | 副座長 |
| 栗野 隆  | 東京農業大学教授    |     |
| 高橋知奈津 | 奈良文化財研究所研究員 |     |
- オブザーバー
- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 山内 良祐 | 愛知県民文化局文化部文化芸術課文化財室 |
|-------|---------------------|
- 事務局
- |                  |
|------------------|
| 観光文化交流局名古屋城総合事務所 |
| 教育委員会生涯学習部文化財保護室 |
- 議題 議事 令和4年度の発掘調査について
- 議題 二之丸地区の発掘調査について
- 配布資料 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 庭園部会（第27回）資料

事務局	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>本日は、ご多用の中、庭園部会にご出席いただきありがとうございます。本日の部会は、オンライン会議とさせていただきます。皆様方には、開催に向けてご協力いただき、誠にありがとうございました。本日の議事は、前回の第26回庭園部会に引き続き、令和4年度の発掘調査についてと、報告は、之丸地区の発掘調査についての2件となります。また、部会終了後には、二之丸庭園の整備計画について、現地水面に関する表現等をご相談させていただきたいと思っています。限られた時間ではありますが、貴重なご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。</p> <p>3 構成員、オブザーバー、事務局の紹介</p> <p>4 本日の会議内容</p> <p>資料の確認をいたします。本日の会議次第と出席者名簿のほかに、資料1として、令和4年度の発掘調査について、A3資料、資料1-1、1-2の2枚です。資料2として、これは報告の資料になり、二之丸地区の発掘調査について。資料の枚数は、A3で3枚の構成となっています。</p> <p>それでは早速、議事のほうに入らせていただきます。ここからは丸山座長に進行をお願いしたいと思います。座長、よろしくお願いいたします。</p>
	<p>5 議事</p> <p>令和4年度の発掘調査について</p>
丸山座長	<p>会議次第の3番目、令和4年度の発掘調査について、事務局よりご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1-1、1-2をご覧ください。前回の部会でのご指摘を受けまして再検討を行い、現時点での大まかな案についてご説明いたします。北池と薬医門周辺、余芳東側の3か所を案として示しています。スライドも画面で共有しますので、配布資料と併せて適宜ご覧ください。</p> <p>まず①②部分の北池の調査目的については、池の三和土護岸背面の構造確認と池底下の状況の確認です。北池は前回の案から変更はありません。過去の調査では三和土護岸、池底三和土の面まで検出を行いましたが、三和土護岸の背面や池底三和土の下の状</p>

	<p>況は確認していません。池の修復整備を行うにあたり、三和土の構築状況についての追加確認が必要と考えられ、三和土の構築方法や年代検討の手掛かりにしたいと考えています。三和土の構築状況を断面で確認するために、人力にて地山まで掘削し、三和土背面や池底下の状況確認を行いたいと考えています。ただし、安全を優先して、掘削を終了することもあります。</p> <p>次に③部分、薬医門周辺の調査目的は、薬医門とその周辺の堀跡遺構、東御庭の遺構残存状況の確認です。前回の庭園部会において、整備において要所となる遺構の確認が必要で、薬医門もその一つであるとのことをご意見をいただいたので、それを基に再考しました。薬医門は外縁部を西部と東部に区画する門であることが絵図から伺え、外縁部を整備する際の核となるものの一つと考えられます。発掘調査によってその位置を特定して、外縁部の整備を行うための検討材料としたいと考えています。また、薬医門周辺の堀跡遺構については、令和2年度の第8次発掘調査で確認しているため、その延長を確認できる可能性があり、庭園北部の堀跡の位置の特定の手掛かりにしたいと考えています。さらに、薬医門や堀跡の南側を調査して、東御庭の遺構の残存状況の把握を行いたいと考えています。</p> <p>続いて④部分の余芳東側の調査目的は、茶亭余芳東側の近世遺構の確認です。東御庭の面的な発掘調査については、先生方からかねてよりご意見をいただいております。今回新たに案として追加しました。今年度の9月頃から余芳東側の調査を行う予定ですが、予算によって当初の計画より規模を縮小せざるを得ませんでした。そのため、当初計画していた残りの面積を調査して、余芳の移築再建にあたって周辺の復元整備を行うための検討材料としたいと考えています。9月頃からの調査や予算によって、今回ご説明した箇所の中で優先順位などを考慮して、最終的な調査位置の決定をしていきたいと思っております。</p> <p>説明は以上です。</p>
丸山座長	<p>今のご説明についてご質問、ご意見等お願いしたいと思います。</p> <p>私のほうから少し。それぞれ過年度に調査された発掘調査の成果が出ていると思うのですが、例えば、薬医門です。薬医門のところを見ていただきますと、平成25年から令和2年度までの発掘やそれ以前のものも含まれています。その過去の発掘調査との整合性と言いますか、あるいはそれで分かったところを、整理して報告してもらう方向でお願いしたいと思います。令和4年度の場合は過年度の調査報告と併せたレイヤーを見せてもらいたいと思っておりますので、そのへんはよろしくをお願いします。</p>
事務局	承知しました。
丸山座長	<p>それは全てのところでそうだと思うのですが、池のところは、①の箇所は、結構幅の広い掘り方があります。これは図面を出してもらった方がいいと思います。</p> <p>ちょうど①北西からというところですか。ここは今、裏側を見るにあたってはここしかない感じです。このへんは非常に重要など</p>

	ころなので、全体の北池の面積はどれぐらいになりますか。ここに書いてあるのかな。①のところです。
事務局	① がだいたい2㎡ぐらいです。
丸山座長	2㎡ですか。ここが何か形が少し、四角ではないのですが、このへんは角を切っているのはどうしてですか。
事務局	ここがちょうど三和土に接するところです。
丸山座長	ここですね。少し出ているところですね。そこだけを掘って、後は少し、保護のためにL字というか、セットバックしているのですかね。
事務局	全面的にここを掘ってしまうと、三和土が倒れてしまう可能性もあるかと思ひまして、一部。
丸山座長	なるほど、はい。状況を見て、三和土の裏側ですね。どうなっているか分からないところが判明するのは、安全性を見てまたやってもらったらどうかと思いますが、あくまでも予定として考えてもらっていいと思います。
事務局	はい。
丸山座長	この後ろはどうするのですか。ここも当たっているところと、当たっていないところ。主に三和土の背面を確認するのが主目的ですか。その後ろは。
事務局	主にこちら側を確認するのが主目的で設定したので、後ろは四角にしてしまったところがあります。
丸山座長	後ろも少し延ばしてもらって、全面ではないですけども、一部確認してもらったらどうかと。ちょうど石組のあるところです。写真を見せてもらったら、わかると思うのですが。このへんに石がありますよね。石がどうやって留めてるのがわかれば、そちらのほうも一部でいいですから、当ててもらって確認してもらいたいですけれども。前の三和土のところだけではなくて、後ろの石の留めです。崩れてきてはいけないので、注意してもらわなくてはいいのですが。どういう手法で石を上積みしているのかが、わかるかと思うのですけれども。そのへんをよろしくお願ひしたいと思ひます。
事務局	調査区の形状については、今後もう少し検討していきたいと思ひます。
丸山座長	形状は、発掘のこういうところをやることで、あとは臨機応変にと申ひますか、面積を勝手に広げたらまた困ると思ひますけれ

	<p>ども。そのへんは平澤さんも理解してもらえるとと思うので、よろしくをお願いします。</p> <p>ほか、いかがでしょう。仲先生、どうぞ。</p>
仲副座長	<p>トレンチの位置については、前回の部会の時にお話した形に変更されて特に異論はないです。今、丸山先生が言われた北池のトレンチの①のところですね。やはり私も同じ形で、背面のほうの石垣との関係を見ていくのがいいと思います。掘り方ですけれども、四角いところを、どういう順番でいきますか。面的にある程度、層別に掘り下げていきますか。</p>
事務局	<p>ある程度面的に、層ごとに掘れると思います。</p>
仲副座長	<p>そうですか。その時は、表土をとって、最初の面が出て、次は半分下げて、半分下げていくような感じですか。</p>
事務局	<p>そうですね。三和土に近いほうから多分調査することになるとと思いますが、段々と。</p>
仲副座長	<p>この範囲の最上層を最初に外すかたちではないのですか。</p>
事務局	<p>すいません、もう一度お願いします。</p>
仲副座長	<p>この赤で入っている範囲のところを順次、この範囲全体を探っていく掘り下げ方ですか。</p>
丸山座長	<p>今、仲先生が言われたように、全面にずっと掘っていくのか、あるいは半分残しながらやるのかとか、よくあります。発掘の中で、畦道みたいに残していくやり方が。断面を残していく。そこまではやらなくてもいいのかもしれないですけれども、面積がなにせ、全面でずっと抑えていって、壁面はそれで出ますからいいんではないかと思いますけれど。</p>
仲副座長	<p>下がどんな状況になっているかによって。</p>
丸山座長	<p>そうですね。できれば途中でもいいですから、その時に庭園部会を開いてもらったりするタイミングも、考えてもらったかどうかと思います。</p>
仲副座長	<p>それと②のほうは、池底の三和土の下の土の面を掘っていくということですよ。</p>
丸山座長	<p>そうですね。</p>
仲副座長	<p>これは、前のトレンチ③とか④とかの時はどうでしたっけ。下は見てなかったんですか。</p>

事務局	下は見えてないです。
丸山座長	見てない。
仲副座長	わかりました。
丸山座長	むしろ、こちらのほうを注意してもらわなくてはいけないと僕も思っています。三和土が大分5、6cmとか、ごついのがあります。そこで全面でやっていくのか、半分ずつぐらいで、少し自重目にやったほうがいいのか、という気もします。それは現場で臨機応変にやってもらった方がいいとは思いますが。そのへんはどうですか。ここの掘り方のやり方。こちらは全面でどんどんやっていきたいけれども、全部一気に三和土を取ってしまうのかどうかということところです。
事務局	池は慎重にやったほうがいいと思うので、サブトレンチとかを入れつつ掘り下げていこうかと考えています。
丸山座長	これもやはり9月に入ってからということなので、完全に掘り終わった後よりかは、途中の段階で庭園部会を開いてもらったかどうか思います。もう少し掘ろうとか、いや、ここでやめようとか、半分ぐらい進んだ中で。結構な面積なので、これを全部掘り取ってしまうのは、少し心配な気がするのですけれども。これも①も②も、ほかのところも一緒ですけれども。順番としては、どういう順番でされますか。来年度のことなので、まだ慌てる必要はないのですけれども。
事務局	今後の予算とかもあるので、①から④は全てこの範囲でできるとは、考えてはいないのですけれども。
丸山座長	予算がつかなかったら、どれを優先的にやるかという話が出てくる可能性も多いと思っています。
事務局	池の中は優先的にやれたらと思います。
丸山座長	わかりました。 高橋さんはどうですか。
高橋構成員	私も優先度をどうするのか、というのだけ気になったところで。③④についても、令和3年が小さくなってしまって、令和4年に③④はいけるのかなという感じもありますけれども、その時にどっちを優先していくのか。トレンチ④は、どういう遺構を想定して掘る場所だったですかね。すみません、具体的に、うろ覚えで申し訳ないのですが。
事務局	④は、ちょうど絵図でいうと、この辺りに当たると思います。延段とか飛石とか、そういったものが検出できるのではないかと

	期待しています。
丸山座長	予算にもよりますけれども、だいたい縮小される方向性が毎年ありますので、戦略的にたくさんやる計画を立てて、どこまでできるのかがいる気がしていますけれども。それと、この前、佐藤さんが事前打ち合わせの時に来られて、定光寺の彩色瓦が出たので、見せてもらいました。そういうのがひょっとすると、瓦か、延段の陶器のものが出るかもしれないのがこの④のところですかね。
事務局	可能性があるのは④のところかと思います。
丸山座長	そうですね。出てくれば、というのがありますが。優先順位は先ほど言われたように北池のほうをまずやって。③④とすると、④のほうが先ですかね。どうなりますかね。
事務局	③④については、今年の調査をやってみないと、わからないと思っています。
丸山座長	その結果次第ということですね。わかりました。ほかにはいかがですか。どうぞ。
高橋構成員	③はいわゆる範囲確認調査みたいなことで、位置の確認という目的があって、④は余芳周辺を整備していくからその内容を確認するために調査するイメージですか。
事務局	そうですね、はい。
高橋構成員	④が調査できないと、余芳周辺が整備できないということではない。
事務局	余芳周辺を整備に関しては、最小限のところでも今黄色の調査区を設定していますけれども、移築先の検討を進めていく中ではこの④のところもやれたほうが、検討材料も多くなるのでいいと思っています。
高橋構成員	わかりました。
丸山座長	全体説明の時は、余芳の移築は決まっているわけで。発掘する時の理由として、ここの周辺がいかにかに重要であるかを、庭園部会としては、そういう方向性で発言してもらえばいいと思います。なぜここをやりますと言った時に、その説明を丁寧にしてもらうのは重要と思っています。そのへんはよろしくお願いします。
事務局	はい。
丸山座長	どうですか。ほか、いかがでしょう。

高橋構成員	<p>そういう優先度とかを考えていく時に、資料として過去の調査との整合がどうなっているのかが重要になるので。例えば④は、昭和時代の調査がかかっている部分だったりしていると思いますけれども。そういった遺構との関係性を示していただけると、ありそうだなとか、無さそうだなとかいうのが少しわかって、優先的なエリアを設定するのにいいと思います。現状だと、今一つ、ここを掘る意味みたいなものを説明しにくいと思いました。</p>
丸山座長	<p>高橋さんが言われたように、過去の範囲だけが図面に出ていますけれども、内容が出てきていないので。それは4か所ともそうですけれども。過去の発掘の図面とかも併せて我々も確認しておいたほうがいい気がします。エリアだけではなくて、中身もぜひ図を添付してもらいたいと思います。</p>
事務局	<p>今後、資料の時に気を付けます。</p>
丸山座長	<p>もちろん、ずっと勉強されていて、レイヤーと言いますか、過去に書いたものと合わせながら検討されていると思います。その検討過程みたいなものを、庭園部会で共有しておいたほうがいいと思います。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>はい。</p>
丸山座長	<p>それぐらいですかね。また後で戻ってもらってもいいですけども。令和4年度なので、また年内にいろいろご意見も出ると思っています。令和3年度のここの余芳のところの発掘も、庭園部会で見られる機会を設けてもらえたら一番いいと思います。</p> <p>それでは報告になりますかね。二之丸地区の発掘調査について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>座長、次に行く前に、今の議題としては、このかたちで全体会議にお諮りしても大丈夫ですか。</p>
丸山座長	<p>ええ。今言いましたように、なぜここを発掘調査するのかを必ず言っていて、過去の発掘との関係ですね。それを全体会議では言っていていただくと。必ず、なぜここを掘るのか、という話は出てくるので、北池は北池の構造を見ると。特に三和土の裏側の構造をきちんと確認しますとか。今の余芳のところは、余芳が移築される前に、やはりここをある程度調査しなければいけない。薬医門も、一部されていますけれども、もう一度内堀とか、薬医門の位置とか、それを確定させたいのでやりますという、目的が何かを書いておいてもらって。もちろん、そういうことでやってもらうわけですけども。そのへんを確認しておいてもらったほうがいいと思います。全体ではあまり庭園というか、発掘についてご存じではない先生方もおられるので、丁寧な説明をしておいてもらったほうがいいと思います。よろしくお願いします。</p>

事務局	そういった説明の仕方を心がけて、丁寧に説明します。
丸山座長	そうしたら、次をお願いします。
	6 報告  二之丸地区の発掘調査について
事務局	<p>二之丸地区の発掘調査の報告をします。まずその前に資料の訂正があります。資料2-2の図3左上のT13 完掘状態（南から）というキャプションですけれども、南からではなくて、北からでした。</p> <p>第23回庭園部会にて、二之丸地区発掘調査の所管が庭園部会から石垣・埋蔵文化財部会へ変更になった際に、同案件について庭園部会では適宜報告するという整理をしました。つきましては、本日、昨年度の発掘調査成果と、すでに全体整備検討会議および石垣・埋蔵文化財部会で認められた、今年度の発掘調査について報告します。</p> <p>まず昨年度の発掘調査成果について報告します。資料2-1をご覧ください。図1の左側にあるT13、T14は昨年度の調査区です。調査区はT13が近代の厩の東側、近世の向屋敷北側の境界塀が想定される位置に、T14は近代の厩の東側、近世の馬場が想定される位置に設定しました。</p> <p>T13では近代面と近世面をそれぞれ確認しました。調査区北側の近世面で石を確認しました。二之丸庭園権現山東側で出土した礎石列に石の形状が似ていることと、調査区の位置が御城御庭絵図にある向屋敷北側の塀が描かれているエリアであることから、塀に関連する遺構と考えています。調査区中央部では砂質の盛土を確認しました。これは馬場に関連する遺構と考えています。</p> <p>T14では近代面、近世面をそれぞれを確認しましたが、近世面では明確な遺構を確認することができませんでした。</p> <p>続いて、今年度の発掘調査について報告します。画面共有で位置を説明しながら説明します。</p> <p>昨年度はT13、14のほかに11、12、15の計5か所を調査する予定でしたが、排土工事の契約が順調にいかなかったことや、ほかの調査との兼ね合いもありまして、11、12、15の3か所は今年度に繰り越すことにしました。繰り越した3か所については全体整備検討会議および石垣・埋蔵文化財部会でご議論いただき、現状変更申請の手続きを現在進めています。調査内容について、今回報告します。</p> <p>T11は東西2m、南北10mで、設定目的は二之丸御殿西部の遺構確認。検出が予想される遺構は、二之丸御殿に関連する礎石、東石、雨落ち溝などが考えられます。博物館明治村所蔵の歩兵第六連隊平面図集によれば、調査区の南側は空地と暗渠、北側は兵舎となっています。北側は兵舎内部において近世遺構が良好に残っている場合がありますので、調査区11のある二之丸広場でもその可能性を探るためにくい込ませたものです。</p> <p>調査区12は、東西6m、南北2mで、設定目的は二之丸御殿の</p>

	<p>西境を構成する堀遺構の確認で、検出が予想される遺構は礎石、側溝などが考えられます。『歩兵第六連隊平面図集』では空地地になっている場所ですので、近代の影響を受けていない場所での調査です。</p> <p>調査区 15 は、東西 2m、南北 4m で、近世の馬場関連遺構の検出を目的としています。歩兵第六連隊平面図集を参照したところ、建物や暗渠はありませんでした。検出が予想される遺構は、砂敷きや土居の裾等が考えられます。</p> <p>以上が本年度の発掘調査区の説明になります。</p> <p>全体整備検討会議等で議論されたことも報告します。</p> <p>全体整備検討会議および石垣・埋蔵文化財部会でお諮りした際に、主に 4 点のご指摘をいただいています。</p> <p>1 点目は、発掘調査にあたって、近代遺構を攪乱として認識せず、文化財として取り扱うべきであるというもの。</p> <p>2 点目が、測量図と御城御庭絵図の重ね図にズレが生じているので、最近はいろいろな方法の重ね方があるので、重ね図を工夫してみてもどうかというもの。</p> <p>3 点目は、名古屋市や名古屋城では発掘調査後、報告書がなかなか作られない傾向にあるので気を付けてほしいということ。</p> <p>4 点目は、明治村になぜ陸軍期の名古屋城の図面があるのか。航空写真と歩兵第六連隊平面図集の建物配置が異なっているが、時期はいつか。</p> <p>というご意見、ご質問をいただきました。</p> <p>1 点目の近代遺構の取り扱いについては、二之丸地区第一次調査より、基本的には近代遺構が出土した時点で掘削をやめ、近代遺構の記録を作成しています。今回も同様に近代遺構を文化財として認識し、調査を進めてまいります。</p> <p>2 点目の重ね図にズレが生じている問題については、今後二之丸庭園も含めて、出土した遺構と絵図の一致箇所などに対して、随時 GIS を用いて、絵図を伸縮させて絵図の歪みの補正を試みます。</p> <p>3 点目の報告書の刊行に関する問題ですが、昨年度の調査と併せて来年度に報告書を刊行する準備を進めています。</p> <p>4 点目の歩兵第六連隊平面図集の時期や、明治村が所蔵している経緯については、明治村へ資料調査に行った際に先方の学芸員に伺ったところ、図面は陸軍が作成したもので詳細な時期は不明ですが、米軍が 1945 年に航空写真を撮影した時期よりも古いものになるということです。図面は戦後、東海財務局が複製し、兵舎の一棟を明治村に移築した際に譲り受けたものということです。</p> <p>報告は以上です。</p>
丸山座長	<p>特に、最後の明治村の所蔵です。これは何か聞くところによると、今見せていただいています、これは手持ちのカメラで撮られたものですかね。</p>
事務局	<p>そうです。資料化するのが今年度あたりにしたいと思っており、間に合いませんでしたので、デジカメで撮ったメモ写真を使っています。</p>

丸山座長	そうするとこの建物、兵舎のできている状況から見ると、だいたい の時期はわかるわけですかね。そのあたりはどうですか。
事務局	わりと初期の頃だと思われまして、明治から大正あたり、太平 洋戦争前のものだと思います。
丸山座長	少し気になったのは、我々は庭園部会なので、庭園部を見ると、 割と雑に描いてある感じがしましたけれども。見た感じどうです か、庭のほうは。
事務局	庭のほう。ここらへんですか。
丸山座長	そのへん。赤坂山とかあるところへんですけれども。
事務局	アップにしたほうがいい場所があれば。
丸山座長	北池のところ、少しアップしてもらって。報告とはあまり関係 ないですけれども。
事務局	そうですね。雑というか。二之丸広場とか体育館のほうに着目 していたので、あまりこういうところは、あまり見ていなかった のですが。
丸山座長	図面集としては、どういうものがあるのかはまた教えてもらい たいのです。特に我々は庭園部会なので、このところ、北池と か南池です。あのあたりの図面がどう描かれているのかをまた調 べてもらいたいのですけれども。
事務局	わかりました。
丸山座長	また行く機会がありますかね。
事務局	あります。
丸山座長	ぜひ、そのあたりを。こちらの図面を見ていると、建物が少し 振っているところがこの前気になりましたが。兵舎と、これは将 校集会所か何かですよ。少し振ってますよね。これが正確かど うかもわからないけれども。そういう建物の位置関係が結構重要 なものという気はしています。ほかにこういう図面があるのか、 無いのかをぜひ調査してもらいたいなと思っています。よろしく お願いします。
事務局	はい、わかりました。
丸山座長	私ばかりがしゃべっていますけれども、ほかにかがでしょう。 今日の報告は石垣・埋蔵物文化財部会の中での話ですけれども。 調査する面積が少ないという話が出ていたのかもしれませんが、

	いかがでしょう。今の報告で、仲先生、どうですか。
仲副座長	先ほど丸山先生も言われていたように、これまでの発掘調査の成果を少しずつレイヤーで重ねていって、検討材料にしていくということですが。これが今の明治村がお持ちの平面図ですよ。ここに兵舎の位置が描いてあって。これも、これまでの図で兵舎の建物の痕跡が出てきているわけですが、そういったものと重ね合わせた検証は、もうすでに行われているのでしょうか。それとも、これからなさっていくのでしょうか。
事務局	航空写真などは重ねていますが、明治村の図面がメモ写真程度のものしか撮っていないので、正式な手続きを経て、資料化したものが揃い次第取り掛かりたいと思っています。
丸山座長	これ、楽しみです。
仲副座長	そうですね。築山のところが東のほう、削られた状態で等高線が入っているのですよね。
丸山座長	そうですね。この建物がずっときてましたから。この明治村の資料はどうやって知ったのですか。
事務局	明治村に兵舎が移築されているのを、名古屋大学の関連の資料などをいろいろ探してわかりました。で、明治村にそういう資料はないかと問い合わせをして、こういうものを見せてもらいました。
丸山座長	なるほど。長年ずっと名古屋城跡の二之丸とか、ほかのところもありますけれども、これは初めて我々も教えてもらった資料なので。よく知っている先生方にはどうなのか知らないけれども。この前のメンバーからすると、誰も知らなかったような感じです。ぜひ、こういう資料を発掘してもらおうと、実際の発掘だけじゃなくて資料の発掘もという気がしますが。高橋さん、何かありますか。
高橋構成員	石垣・埋蔵物文化財部会のほうで、近代遺構を文化財と捉えて、出たら止めるという方針であるというお話でしたけれども。それと二之丸庭園の中でやっている発掘の方針とのすり合わせというか、見解の整理みたいなものができているのかと、心配になりましたけれども。そのへんはどうでしょうか。庭でも、止めるという方針でしたでしょうか。
事務局	庭のほうは最低限、近代が出た場合、その下の状況を確認するために小さいトレンチを <b>開ける</b> ということ、確か平澤調査官とお話をして、去年はやったと思います。今回は、歩兵第六連隊平面図集などを参考に、できる限りトレンチの全体が近代にかかっ

	てしまわないように設定しましたので、遺構が出てないところを掘り下げていく感じでやっっていこうと思っています。
高橋構成員	そうしたら一応、二之丸庭園の中での整備のための内容確認調査については、必要に応じて掘り下げることが全体の中では了承を得ているということでもいいのですよね。丸山先生に聞いたほうがいいのかな。
丸山座長	一応ね、平澤さんといろいろ話し合いをしながら、現場にも来てもらって、近代のところでは止まっていたけれども。この庭は近世の状況が分からないといけないから、全面的に近代を取っ払うのではなくて、先ほど事務局が言われたように、最小限、確認ができるまでは掘り進むということで、文化庁も OK しています。その点に関しては、高橋さんが先ほど言われたところはクリアしていると思います。そうでないと、近代のところだと、今までやってきたものを埋め戻さなくてはいけないところがいっぱいあります。北御池は、泥が余ったあと、玉石をザーッと並べていたわけですから。それを取り去って、下を見ていくわけですから。そのあたりは柔軟に対応してもらえんと思います。
高橋構成員	庭園の中のほうも近代遺構の分布状況によって、今後の発掘調査のトレンチの位置も、少し検討する必要があると思ったりもしたので。いっぱいあけたはいいけれども、ほとんど立派な近代遺構が出てきて、掘り下げられません、みたいなことにならないかなど、少し思いましたので。そのへんは設定する時に気を付けていただければいいぐらいのことだと思います。これから測量図と絵図の重ね図を、GIS とかをを使って頑張ってやっっていくということを言っていたので、それでより最初の、調査前の情報が整理されてくると思いますので。効率的な調査ができるように。
丸山座長	もうあるみたいですね、GIS を使ったもの。そのへんも、きちんと合うかどうかを。
事務局	少し担当者からコメントを。
事務局	庭園調査においても、原則近代で止めるというのは認識をしていて、必要に応じてというか、最小限で進めていく方針なので、二之丸地区のほうと庭園のほうで遺構の掘削の方針に齟齬があるということではないです。
丸山座長	もちろん近代で止めるというのがありますが、近代で止めて整備にかかる中で、やはり近世のやり方です。池、護岸を確認するには、近代で止めて分からなければ、平澤さんも理解をしてもらっていますけれども、一部は近世のところまで広げることになっていますので。そのへんは高橋さんが心配されているようなことはないとは思いますが。

高橋構成員	さっきの兵舎の青焼き図と比較すると、令和4年の④で言っていたところは、その兵舎と兵舎の間ぐらいになって、近世遺構を見るうえで適した場所と言えるのかなと思ったりもしたので。そういう整理の上で決めているというふうに言えたら、よりいいと思いました。
丸山座長	僕は、近代の遺構が出てきてもいいと思っています。やはり、近代の遺構も図面との関係がしっかりしているかどうか。出てきたら埋め戻せばいいわけで。確認という意味では問題はないと思いますけれども。その近代の兵舎の下のほうを見る分には、また別の、その確認できたところ以外のところで設定すればいいと思います。あまり図面ばかり気にしながらやっていて、そのようにうまいこと合えばいいけれど、難しいよね。
高橋構成員	それはそうですね。
丸山座長	出てきたら、近代の遺構がその兵舎のどこだということが確認できれば、次の段階で近世遺構をめざせられるところが出るかもしれない。しょうがないけれどもただ面積が少ないです。これは予算の関係もあるのであまり増やすわけにもいかないという気がしています。
丸山座長	ほか、どうですか。なかなかZoomでの会議は難しいんで。僕も何回かやっていますけれども。今後はこういう会議が多くなるので、いろんなことをこの場で言っておいてもらおうとは思いますが。
事務局	座長、いいですか。
丸山座長	はい、どうぞ。
事務局	発掘調査ですけれども、庭園のほうの発掘調査はさっき黄色く塗ってあった範囲を本年度やります。二之丸地区のほうの発掘調査は、今お話しした3か所をやります。順番にやっていくと思うので、やる時には部会をぴったり開けられるかわかりませんが、やる日程については先生方にお伝えしていきます。もし都合がよろしいようでしたら、適宜ご覧いただけるようには配慮してまいりますので、よろしくお願ひします。なるべく部会と合うようにはしたいと思います。
丸山座長	そうですね。やはり慎重にやらなくてはいけないところでは、一応部会で、行政的にも一応確認してもらっていることがあったほうがいいと思います。掘り進んでしまってからでは遅いですから。そういうのが懸念されますので。き損の話もあるから、そのへんは文化庁との関係もありますので。なるべくうまいこと合わせてもらえる日程を作ってもらおう。ただ、今こういうコロナの状況で、それが可能かどうかはわかりません。今回もそうなる

	<p>いるのですけれども。これからも右肩上がりで増えそうな気もするし。</p> <p>そうしたら、今日の会議はこれぐらいですかね。</p>
丸山座長	<p>栗野先生、何かあれば今までの議論の中で言っておいてください。</p>
栗野構成員	<p>特には、高橋さんのほうから発掘調査の方針とか、進め方とか、あと留意点については具体的なところが示されたと思いますので、特に私のほうからは意見等はございません。</p>
丸山座長	<p>いいですか。今回、最後のほうで言っていたのは、明治村の資料がちょっと楽しみだなと。これは整備室の高橋さんが今後また整理したものを解説してくれると思うので。</p>
栗野構成員	<p>私もその明治村の図面の解析結果についてちょっと楽しみにしています。</p>
丸山座長	<p>だいぶ長いこと城の会議をやっていたけれども、今まで出てこなかったのが不思議だと。</p>
丸山座長	<p>県の文化財のほうはどうですか。今までの発掘に関して、山内さんのほうから。何かありましたら。</p>
山内オブザーバー	<p>だいたいお話の流れの中で、まずは来年度の調査については、私も丸山先生が言われた過去の調査との整合性だとか、あとはそれらを全て関連付けてこれからの発掘調査はまとめていく必要があると感じたのと、優先順位はきちんとつけてやっていただければいいと思いました。二之丸地区のほうの発掘調査につきましても、石垣・埋蔵文化財部会の状況も愛知県のほうで把握していますけれども、石垣・埋蔵文化財部会とうまく連携を取りながら、このかたちで進めていただければと考えておりますので、今後とも適切に進めていただきますようお願いいたします。</p>